



BCJ 評定-RC0263-03

評 定 書 (工法等)

岡部株式会社

取締役社長 廣渡 眞 様

一般財団法人 日本建築センター
理事長 橋 本 公 博



平成 29 年 7 月 19 日付けで、評定申し込みのあった下記の件について、当財団コンクリート構造評定委員会（委員長：林静雄）において慎重審議の結果、平成 24 年 12 月 19 日付け評定書（評定番号：BCJ 評定-RC0263-02）のとおり、本件は、申し込みの範囲において、当委員会で定めた基準に照らし、妥当なものであると評定します。

なお、本評定書の有効期間は、本評定日より平成 34 年 10 月 15 日までとします。

平成 29 年 8 月 16 日

記

1. 件 名 C・Sジョイント式鉄筋継手
2. 継手の概要 種 類 : SD295A、SD295B、SD345、SD390
呼 び 名 : D13、D16、D19、D22、D25、D29、D32、D35、D38、D41、
D51
形 状 : JIS G 3112(鉄筋コンクリート用棒鋼)に適合した異形棒鋼
3. 継手の性能 A 級（2015 年版建築物の構造関係技術基準解説書
「鉄筋継手性能判定基準」による）
4. 評 定 区 分 更新
5. 変更の内容 1) 代表者名の変更
2) 準拠規基準等を最新版に変更
・建築物の構造関係技術基準解説書（2015）
・JASS5 鉄筋コンクリート工事（2015）
3) 組織変更による見直し
4) 講習修了証の変更
5) 品質管理体制の見直し

上記項目以外は評定書報告書（BCJ 評定-RC0263-02）のとおり

6. 備 考

本評定は、設計・施工・品質管理等が適切に行われることを前提に、提出された資料に基づいて行ったものであり、個々の工事等の実施過程及び実施結果の適切性は評定の範囲に含まれていない。また、本評定は申込者による自主管理方法について行われたものであり、受入れに際しては、工事管（監）理者の判断による受入検査が行われることを前提としている。